Salesforce MFA（多要素認証）有効化に伴う Fleekdrive への影響について

2022 年 01 月 07 日

株式会社 Fleekdrive

目次

目次 2
1　はじめに 3
2　影響範囲について 4

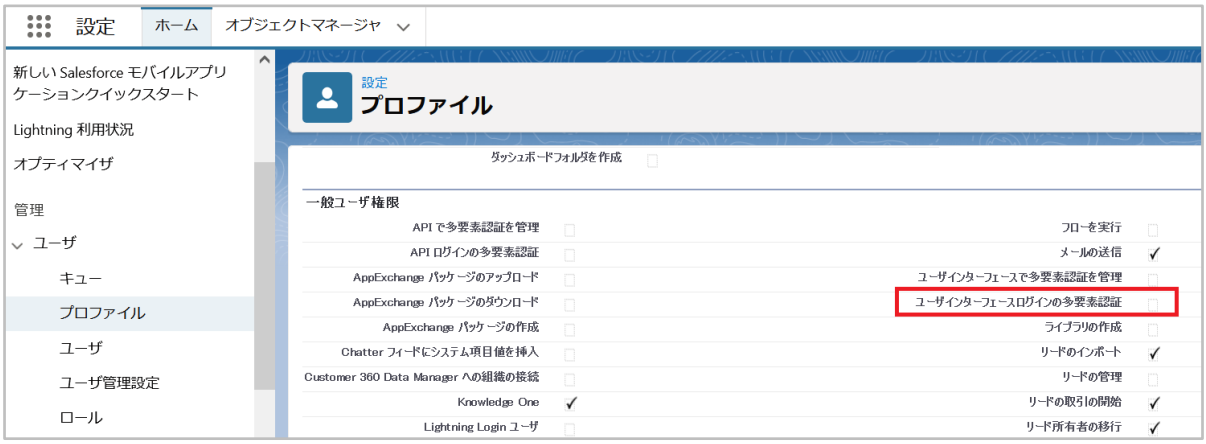
1　はじめに

2022 年 2 月 1 日から、Salesforce にアクセスするために MFA（多要素認証）の必須化が予定されておりますが、必須化に伴う Fleekdrive への影響について本ドキュメントでお知らせいたします。

まず、Salesforce で MFA を有効にする手段は、以下 2 つの方法がございます。

(a) [プロファイル]-[一般ユーザ権限]-[ユーザインターフェースログインの多要素認証] 項目を有効にする。

図 1-1



(b) [プロファイル]-[セッションの設定]-[ログインに必要なセッションセキュリティレベル] 項目で「高保証」を選択する。

図 1-2

2　影響範囲について

次に、上記(a)、(b)を有効化した場合の Fleekdrive への影響有無について、以下に記載いたします。

(a) を有効化した場合

Fleekdrive Salesforce 版、Fleekdrive デスクトップ、Fleekdrive モバイル、SF モバイル、Fleekdrive の API において、いずれも**問題なく動作いたします。**

(b) を有効化した場合

Fleekdrive Salesforce 版、Fleekdrive デスクトップ、Fleekdrive モバイル、Fleekdrive の API は問題なく動作いたしますが、SF モバイルで Fleekdrive を利用できなくなりますのでご注意ください。

Salesforce アプリで MFA を有効にしたい場合の回避方法として、Salesforce 社からは、現状、接続アプリケーション側での設定が案内されております。

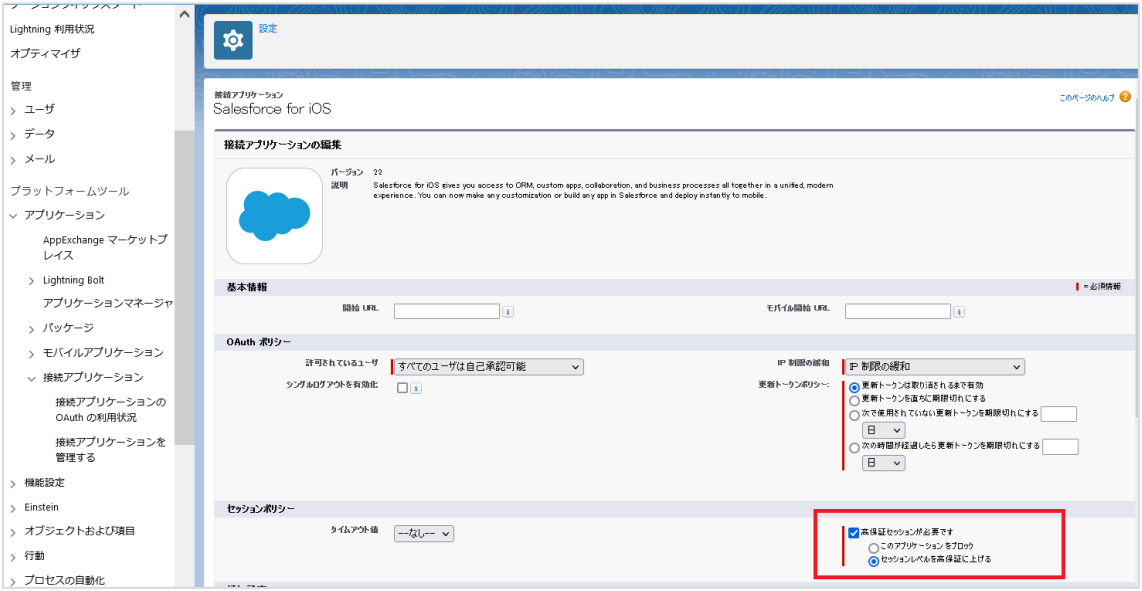
SF モバイルで Fleekdrive を利用し、かつ、高保証の設定を行いたい場合は、(b)ではなく、以下の設定にて回避を行ってください。

＜設定方法＞

[接続アプリケーションを管理する]-[セッションポリシー] 項目で「高保証セッションが必要です」にチェックを入れ、「セッションレベルを高保証に上げる」を選択する。

対象の接続アプリケーション： Salesforce for iOS

図 2-1



ただし、「高保証セッションが必要です」にチェックを入れ、「このアプリケーションをブロック」を選択した場合、SF モバイルで Fleekdrive を利用できなくなりますので、ご注意ください。